

◆平成29年度 群馬県立女子大学出前講座一覧

- ◆受講対象者は原則として高校生以上ですが、中学生の受講にも対応できるものについては特にその旨表記しています。
- ◆講義時間は各講座とも90分です。

| | 分野・タイトル等 | 分類1 | 分類2 | 概要 | 教員名 | 対象者 | 備考 |
|----|------------------------|------------|-----|---|---------|------------------------|-------|
| 49 | こころを科学する：注意の力 | 環境・情報・自然科学 | - | 自動車の運転中、標識に少し注意するだけでラジオの話を聞き逃したことはありませんか？スマートフォンを操作しつつ歩いても、ちゃんと注意して前を見てよ、なんて思っていないですか？私たちの注意の力は、頼もしい一方で、過信も禁物です。注意しているようでできていない、注意の意外な側面を、映像を交えつつ解説します。 | 甲村 美帆 | 高校生、大学生・社会人 | |
| 50 | 私の顔はどれ？ | 環境・情報・自然科学 | - | 街路ですれ違った人を「なんとなく見たことがある」と思っていたら、かかりつけのお医者さんだった、という経験はありませんか？あんなに親しくしていたのに、なぜ分らなかったのでしょうか。社会的動物であるヒトにとって特別な意味を持つ「顔」を、科学的な視点から解説します。環境を整えば、「他人のそら似生成機(心の実験パッケージ)」を用いた実験を、ワークショップ形式で行うことも可能です。 | 甲村 美帆 | 小学生高学年、中学生、高校生、大学生・社会人 | |
| 52 | パズルの数学 | 環境・情報・自然科学 | - | 論理パズルは古くから哲学上の問題となっているうつつきパラドックス等と密接な関わりを持っています。このようなパズルを解きながら、パラドックスから現代数学までに至る道をながめてみます。 | 黒田 覚 | 中学生、高校生 | |
| 53 | 暗号の科学 | 環境・情報・自然科学 | - | 現在のネットワーク社会において暗号技術は不可欠なものであり、気づかないうちに誰もが利用しています。その一方で暗号は歴史の様々な場面で重要な役割を果たしてきました。この暗号技術を古代から現在に至る時代の変遷を通して見てみましょう。 | 黒田 覚 | 中学生、高校生 | 広報課有り |
| 54 | ソーシャル・メディアを考える | 環境・情報・自然科学 | - | インターネット、グーグル、ブログ、そしてツイッター……。我々を取り巻く様々な「ソーシャル・メディア」はどのように変容し、また我々の日常を変えてきたのでしょうか。その「生態系」を、情報社会論の視座から考えていきます。 | 山崎 隆広 | 限定なし | |
| 55 | プログラム・ピクチャーとは何か | 環境・情報・自然科学 | - | 「プログラム・ピクチャー」。1950～60年代、日本映画が第2の黄金期を迎えていたとされる時代に製作されていた膨大な邦画の数々。その映画群の知られざる歴史と魅力を、メディア論の視点から考えます。 | 山崎 隆広 | 限定なし | |
| 56 | 電子書籍の生態系 | 環境・情報・自然科学 | - | iPad、Kindleなど、続々と登場する電子書籍端末。新たなデバイスは、どのように我々の情報環境を変えていくのでしょうか。そして、それに伴って、我々の〈知〉はどのように変容していくのでしょうか。最新事例などを紹介しながら考えます。 | 山崎 隆広 | 限定なし | 広報課有り |
| 57 | 頭の中の地図 | 環境・情報・自然科学 | - | 地域や環境は、ひとりひとりの頭の中でさまざまに認識されます。それゆえ人々の頭の中に刻み込まれ、描かれる地図もさまざまです。実際に描かれた例を取り上げながら、どうしてこのような地図が出来上がるのかを考えてみたいと思います。 | 関村 オリエ | 限定なし | |
| 58 | 自然災害避難呼びかけ文の現状と問題点・改善点 | 環境・情報・自然科学 | 日本語 | 津波や水災害・土砂災害の危険があるときに、自治体が地域住民に対して避難を呼びかけます。複数の自治体から集めた避難呼びかけ文を言語学の観点で分析し、そこから見えてきた問題点・改善点を紹介します。 | 小笠原 奈保美 | 防災に興味のある方 | |